

#### 第4回長久手町総合計画審議会

|       |  |              |  |
|-------|--|--------------|--|
| 日時    | 平成21年2月2日（月）午後2時00分から3時30分まで   |              |  |
| 場所    | 長久手町まちづくりセンター2階集会室   |              |  |
| 出席者   | 会長 佐々木雄太   | 委員 吉田和子      |  |
|       | 職務代理 横田浩臣  | 委員 吉田智夫      |  |
|       | 委員 相原愛   | 委員 吉田濱一      |  |
|       | 委員 青山宏   | 委員 渡辺聖司      |  |
|       | 委員 大河原良  |              |  |
|       | 委員 勝野浩   |              |  |
|       | 委員 加藤貴志子   | 事務局 企画政策課長補佐 |  |
|       | 委員 島田善規  | 企画情報係長       |  |
|       | 委員 谷澤明   | 専門員          |  |
|       | 委員 寺島末美  | 主事           |  |
|       | 委員 水野賢二  | コンサルタント3名    |  |
| 欠席者   | 委員 浅井信義  | 委員 山本理絵      |  |
|       | 委員 岩田昭彦  | 委員 吉田美千代     |  |
|       | 委員 菊地正悟  |              |  |
| 会議の公開 | 公開   |              |  |
| 傍聴者数  | 1名   |              |  |
| 審議の概要 | <報告事項><br>・第3回長久手町総合計画審議会の議事録について<br>・第5次総合計画全体パブリックコメントの結果について<br><検討事項><br>・第5次総合計画案について<br>・第5次総合計画案の答申について |              |  |
| 問合先   | まちづくり推進部企画政策課企画情報係（内線253）  |              |  |

#### 議事録

##### 【開会】

- 企画政策課あいさつ
- 配布資料の確認
- 会長あいさつ

##### 【報告事項 第3回長久手町総合計画審議会の議事録について】

事務局より説明。

【報告事項 第5次総合計画全体パブリックコメントの結果について】  
事務局より説明。

【検討事項 第5次総合計画案について】  
事務局より説明。

<質疑応答> (第5次総合計画案に関連する質疑応答)

委員

P.64 [都市景観] の「目指すべき姿」の中に、「景観計画の対象となる「景観計画区域」を町全域とし」とあるが、約2年前に景観基本計画の検討が行われた際に、直ちに計画を定めると聞いていたが未だにできていない。景観基本計画はどのように定められるのか。

事務局

担当課に確認したところ、来年度中にパブリックコメントを実施し、同年度末までに策定を終えたいとのことである。

委員

P.33 [環境保全] に「ノーカーウィークの実施」とあるが、各地で上手くいかなかった事例が多い。理由として、継続的に発展させていくシステムが十分でなかったことが考えられる。実施段階では、ぜひシステムづくりを工夫していただきたい。

事務局

現在、役場では月1回のノーカーデーがあるが、行政が率先してさらに一步進んだノーカーウィークを町全体に普及していきたいと考えている。ご指摘のとおり、まずは継続的なシステムづくりを検討していきたい。

会長

システムづくりとは具体的にどういうことか。

委員

ISO14000にはPDCAという推進状況をチェックする仕組みができています。本町でも、制度も含めて検討することが必要ではないか。また、例えば自転車の通勤手当は自動車に比べて手薄く、通勤災害が起こった際の対応など、検討することは多いと思う。

委員

P.61 [公共交通] で都市交通に一番重要なのは、通勤通学面でも交通をいかに快適で便利なものにするかということだと思うが、リニモのような鉄道を軸にフィーダー交通を結び付けてネットワークを作っていただきたい。その際、コミュニティバスは通勤通学用ではないと考えていらっ

しゃる方もおられるので、コミュニティバスの本来の目的も整理しながら検討していただければと思う。

#### 事務局

本年4月1日からは、通勤時間帯に拠点場所からリニモの駅へ走らせるシャトルバスのような形での運行も予定しており、住民説明会での意見をもとにNーバスの再編も進めていきたい。

#### 委員

ラッシュ時間帯とそれ以外では大きく目的が変わるため、その辺りについては丁寧に住民の方へ説明していただきたい。

#### 委員

P.129 [地域協働] の「(3) 協働事業提案制度の確立」の対象主体が住民活動などになっているが、大学生も含めて広く考えていただきたい。また、募集手続きを簡単にしていただきたい。提案後の成果も公表した方が自主的な監査になるのではないか。公益性があれば、人件費も含めて経費の大半を町で負担してよい事業もあるのではないか。無償のボランティアでは長続きしない。また、行政の方から市民活動に参加するという観点も含めていただきたい。制度設計の段階から住民参加を検討していただきたい。

P.139 [人事管理] に「(1) 公平で透明性のある人事評価制度の施行」とあるが、公務員の人事評価制度ほど難しいものはない。先行自治体で行われているものの多くは民間ベースでできているため、現実的に考えて実施していただきたい。また「(3) 多様な任用制度の推進」については、大変重要な視点だと思う。

全体を通して、「イベント」という言葉が多く記述されているが、行政も民間もNPOもイベントを実施していて数が不足しているのではなく、内容や目的が不足していると思う。

#### 事務局

提案制度については、地域協働計画の策定の中でも検討を進めているが、頂いたご意見は担当課に伝えて検討していきたい。人事評価制度については、今年度および来年度で評価制度の試行を経て進めていきたい。イベントについては、様々な課で実施したイベントの評価も必要だと考えている。

#### 会長

具体的な施策として推進していくまでの段階でも住民参加によって十分に議論していただきたいと思う。

#### 委員

P.125 [国際交流] の「(3) 国際交流協会の充実」の中の大学に愛知淑徳大学が入っていないがなぜか。

事務局

担当課に確認し、特段の事情がなければ事務局で追記していく。

会 長

町内の大学としては、町との連携を強めていきたいと思う。町図書館も含めて、長久手の大学の図書館を1つにしようという話もある。また、大学生による史跡めぐりのツアーも今年の春に実現したいと考えている。

委 員

P.72 [防災] に「災害に強いまちをつくる」とあるが、地方防災組織づくりを進める上では、長久手町で起こるかもしれない災害について、どこでどの程度に想定しているか示す必要がある。

事務局

事務局では被害予想の具体的な数値は把握していない。

会 長

防災担当部署では体制づくりがなされていると思うので、必ずしも総合計画に出す必要はないのではないか。

職務代理

総合計画からは少しそれるかもしれないが、単なる意見として述べておく。リニモの経営状況及び今後の支援について、2月の議会だよりを読んだが、議会の質問に対し、町担当は明確に回答していなかった。町長は副社長でもあるため、経営状況をしっかりと把握すべきである。

また、緑に対する認識についても再考してほしい。P.41 [自然環境保全] の「(2) 自然とのふれあいの促進」の中に、「農地は身近な自然が感じられる」とあるが、自然感是人それぞれ違う。農地には緑があり景観は良いと思うが、自然とは相反するものだと思う。

こうした点も含めて、職員は計画案全体に目を通していいのか。また、計画どおりに実施できるものと考えているのか。

事務局

分野別計画は担当課が作成し、事務局との調整を経て、幹部会議や町長を交えた会議にまで協議を重ねている。主要プロジェクトについても、住民参加のほか、一部の職員も加わり検討している。総合計画を推進するための実施計画は来年度から一斉に実施するわけではなく、町の財政計画と整合性を取りながら優先順位をつけて実施していく。

委 員

総合計画の主語は誰なのか。次回の総合計画では住民が事務局側の立場として参加しできるように検討していただきたい。

## 会 長

総合計画は、行政計画として町がリーダーシップをとって作ったものであることを踏まえ、個別施策の計画の際に、住民との協働のシステムを取り入れて住民本位の実施計画を策定していただきたい。答申を行う際は審議会の意見としてその旨を付け加えたいと思う。

## 委 員

P.49 [市街地整備] の「(1) 魅力ある新たな市街地の整備」に、「長久手中央地区はシンボル・コアとして位置づけ」とあるが、土地区画整理事業を進めるには、地権者や区画整理組合の役員がどのようなイメージを持って行うかが重要だと思う。例えば金沢市では、金沢大学、県、市、研究者が参加し、金沢の城下町という観点でまちのコンセプトをつくっている。町の強力なイニシアティブが必要ではないか。

## 委 員

事業規模の予算を付けて区画整理事業の全体計画の中でつくり上げていくべきだと思う。

## 委 員

P.133 [大学連携] の中で都市づくりセンターという計画がシンボル・コアで位置づけられているが、今後のまちづくりにおいて貴重な施設になると思う。単なる箱モノではなく、制度設計の段階から大学や地域と一緒にコンテンツを作っていただきたい。

## 会 長

本日欠席した委員から「100年に1度の経済不況の中、計画の抜本的な見直しが必要ではないか。世界的不況の回復が見られるまで凍結するべきではないか。」との意見が出された。経済危機の仕組みを理解することは大変なことで、ましてやその先を読むことは難しい問題である。総合計画は、財政的な裏付けを検討した上で打ち出した計画というよりも、長久手の将来ビジョンやガイドラインを示すものである。実施段階では財政的な裏付けを踏まえて見直していく必要があるが、まちづくりの長期的な展望として掲げる必要があると思う。

## 委 員

財政に関しては、P.141 [財政運営] の「(3) 健全財政の維持」に「元金償還額以内の発行に努める」と明記されており、この姿勢でいけば問題ないのではないかと思う。

## 委 員

P.78 [障害者福祉] の障害者の「害」は、平仮名の方がよいのではないか。

P.55 [道路] の表中のコンマ (,) は、小数点、あるいは句読点ではないのか。

P.120 [スポーツ] の表は単位を明記した方がよいのではないか。

P.155 以降 [住民意識調査] の複数回答は、各グラフに複数回答と明記した方がよい。回答件数

もすべての項目に明記した方がよい。

余白部分のスペースに写真やイラスト挿入とあるが、空いた所に穴埋め的に入れるのではなく、意図を持って入れるべきである。意図がなければ入れる必要はないと考える。

多くの住民が購入できるように、印刷費を安くしていただけたらと思う。

総合計画は毎年どんな形で事業として進展しているか、住民へ向けて発信していただきたい。

会 長

細かい箇所は一度確認をしていただきたい。

**【検討事項 第5次総合計画案の答申について】**

事務局より説明。

会 長

住民協働については「個別施策の計画段階に当たっては」といった具体的な明記を追加し、財政計画については「世界的な経済危機の折に十分配慮し検討を進めていただきたい」といったように明記する。

委 員

厳しい時代であるからこそ、このようなビジョンを描くということも重要だと思う。

委員長

この時期だからこそ将来計画を持つ必要性を付け加えたいと思う。

(閉会)